

ご卒業おめでとうございます



未来に繋がる
自分へ繋げる

CONTENTS

● 卒業生に贈る言葉 総長 学長	2
● 学園を去るにあたって	4・5
● 平成25年度学長賞表彰	6
● 学長賞受賞者・団体のコメント	7
● 卒業生の皆さんへお知らせ	8

卒業生に贈る言葉



怠らず努めよ

総長 池田 魯參

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様と共に、教職員一同、心からお祝い申し上げます。めでたく駒澤大学の学業を成就され、皆さんが

それぞれの進路に向かってさらに力強く歩を進められますよう期待してやみません。

初めも善く、中ほども善く、終りも善く、怠らず努めよ。積尊最後の有名な言葉です。これは研究でも、事業でも、あらゆる仕事に共通する大事な心掛けではないでしょうか。

何か一つ事を成し遂げようとすれば、形に成るまで長い時間継続して切磋琢磨し、これでいいか、間違いないか、他にもっといい方法があるか、とあれこれ工夫を重ねるのは当然のことです。人生も同じで、転機々々に慎重な判断と決断が求められ、勇気をもって行動に移さなければならない場面に遭遇します。

本学を卒業された皆さんは、どうか積尊の真実語を合せ鏡にして、人生の初めも、中ほども、終りも善く調え、年齢相応の修養を怠ることなく、かけがえのない現身をそれぞれに花開かせ、実り豊かな人生とされますよう心から念じます。

春は花 夏ほととぎす 秋は月
冬雪さえて ずずしかりけり

これは道元禪師が詠まれた和歌です。ノーベル文学賞を受賞した川端康成氏が「美しい日本の私」という記念講演で引用したほどです。歌の心は、一年の内でも、春の、夏の、秋の、冬の景色というふう四季折々の風情がある、人生も寒い、暑いと苦にするのではなく、即今、当処の現実を楽しみたいものだということです。参。



胸を張って堂々と生きよ

学長 廣瀬 良弘

皆さんのご卒業を心よりお祝い申し上げます。皆さんを迎える社会は、日本・世界を問わず、政治・経済をはじめあらゆる面で、不透明な部分

が多いのではないのでしょうか。そのような中で、日本の将来を担う大学卒業生、すなわち、皆さんへの期待は高まるばかりです。しかし、基礎的学力を求める一方で、即戦力も備えていることが要求されるという厳しい状況になってきております。それだけ、社会に余裕がなくなっているのです。

皆さんは、このような中で、即戦力を身につけながら、基礎的なことも学び、幾つかのスキルを獲得したりすることを求められています。つまり、卒業後もアクティブな「学び」の努力が必要となるのです。

しかし、皆さんには本学の建学の理念、「行学一如」の実践がおのずと身につけていると思います。本学ではこの建学の理念に基づき、学んだことを行（実践）によって、自分の血とし、肉とし、自分のものにするというアクティブな学を重んじてきました。この主体性をもって学び続けるという姿勢は卒業後も持ち続けて行ってほしいと思います。

また、グローバル化の波は、否応なしに押し寄せてきております。グローバル化は必ずしも良いことばかりでなく、勝ち組・負け組が云々され、地域の格差が生じております。

皆さんの門出に厳しい状況ばかりを述べるのは、このような中でも、皆さんが、生活力・人間力・思いやりの心を持って、立派に、職場・地域に貢献され、活躍されることを確信しているからです。緑豊かな駒沢オリンピック公園に連なるように展開する駒澤大学のキャンパスで学んだことを誇りにして、胸を張って堂々と生きていってほしいと思います。

一松語

中国宋代の故事に「酢を舐める三人」という比喩話がある。中国三大宗教である儒教・仏教・道教の聖人が酢甕の前に立ち、各々酢を舐めた時の感想を述べる場面である。まず孔子は酸味を感じ、釈迦は苦味を感じ、老子は甘味を感じたという。同じ対象でも思想によって、全く違う理解が生じることを端的に示す話である◆実は考えるプロセスが違って生きていく目的は同じであるという三教一致を述べており、

三教が絶妙なバランスで共存していた中国ならではの解釈といえよう。この説話は、「三酸図」として水墨画にも表現され、特に禅宗寺院で好まれた画題であった◆ちなみに中国語で「酢を飲む」は、嫉妬するという意味で用いる。嫉妬した時に咽喉奥から込み上げる酸っぱい何かを感じることは、誰でも経験したことがある。また「半分の酢」という中国語があり、これは瓶に一杯入っている酢は音が出ないが、半分しか入っていない酢は音が出る、生半可な者は知識をひけらかすとい

う故事から、知ったかぶりという意味で用いる◆今日は卒業式。在学中の甘酸っぱい出来事など思い浮かべる人も多いだろう。よく「酸いも甘いもかみ分ける」などというが、経験こそ人生の重要なアイテム、問題は経験を生かして自分の糧にできるか否かである。あの時の思い出は、酸っぱいか、苦いか、甘いか、全ては自分自身の理解次第であることに気づいて社会に出てみよう。ただし、瓶の酢はいつも満タンにしておく努力を忘れずに。ご卒業おめでとう！

卒業生に期待する

教育後援会委員として4年間駒澤大学の学生に期待したこと、それは自分の人生に目標をもち、大学生活を目標に近づくためのステップとして活用していただくことでした。1日、1日を無駄にすることなく、自分の一挙一動にその意味を感じ取ることです。一方で慈悲の心をもち、常に社会貢献を意識した学生生活を過ごされることも期待しておりました。卒業生の皆さまは禅の精神を重んじる大学に学び、慈悲

教育後援会 一在学生父母の会一

の心を膨らませ、併せて社会人としての感性を身につけられたのではと考えます。卒業後は更なる覚悟をもって社会に踏みだされることでしょう。

就かれる仕事により学ぶ技能は異なってまいります。ですが、どんな仕事に従事しても、「一挙一動にその意味を感じ取る」ことを忘れないでください。社会貢献を常に念頭に置き、慈悲の心をもった社会人として活躍されることを期待しております。



教育後援会会長
高橋 俊夫

卒業生に栄光あれ

卒業おめでとうございます。

駒澤大学駒澤会は卒業生の父母の会として、永きに亘り一人でも多くの学生に奨学金を授与することを第一の目的として活動している組織です。

皆さまは長年の教育を終え、培った能力を生かし、社会人としていよいよその真価・実力を遺憾なく発揮できる時が参りました。失敗を恐れず目標に向かって進んでください。

駒澤会 一卒業生父母の会一

何事にも真剣に取り組み、努力することにより必ず自分にプラスとなって返ってきます。自分なりの希望を掲げ、今現在を大事にしてチャレンジし続けてほしいと願って止みません。

ご卒業にあたり、皆さまのさらなる活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。

卒業生に栄光あれ!!



駒澤会会長
森屋 正治

同窓会会員としてのスタート

駒澤大学同窓会には21万人を超える会員がいます。皆さまも晴れて同窓会会員として新たなスタートとなります。卒業時の住所を基に、全国に55ある支部のどこかに所属されることになります。これからは支部会員として、学部学科を超えた駒澤大学出身の仲間として、支部活動を盛り上げ、大学を応援していただくようお願いいたします。同窓会は奨学金を提供し、スポーツ・文化・学業に優れた学生・団体を表彰して

同窓会 一卒業生の会一

います。これら支援の根底にあるものは、駒澤で学び巣立った者が卒業後に何らかのかたちで母校に貢献できる時がきつとあるという思いです。年を重ね、さまざまな苦難を乗り越え生きていく過程で、大学時代の仲間は大きな財産であり、そこから得るエネルギーがまた励みとなります。皆さま一人ひとりが同窓という輪の中にいることを念頭に、誇りを持って一歩を踏み出すことを願っています。



同窓会会長
越後 宏允

卒業される皆さんへ 学部長からのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。社会に行く皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。どうぞ駒澤大学で培った教養と人間性を生かして、輝かしい未来を手に入れてください。

とはいえ、自分で働き、自分の責任で生活していくのは、どんな職業であっても簡単なことではありません。これから先、仕事の失敗に落ち込むことも、人間関係に悩むこともあるでしょう。ご卒業にあたり、先生ではなく先輩として、3つのアドバイスを贈ります。

千里の道も一歩から

簡単に片付きそうもない大きな仕事を何とかやり遂げねばならないとき、ため息をついていても仕事はなくなりません。まずは第一歩を踏み出すことです。大きすぎる仕事を前に全体像がなかなかつかめないうちは、悩む前に「今」やるべきことに着手しましょう。

立ち止まって考えるより、目の前の仕事を一つひとつ片付けることに集中すれば、必ず終点に到着します。

自分を変えることを恐れない

せっかく就職したのに、たった1年か2年で辞めてしまう人が増えています。多くの人が「自分に合う仕事を探したい」と言いますが、その「自分」って何でしょう。これまでやったことのない、想像したことなかった新しい仕事に挑戦していくうちに、自分自身が変わっていくのではないのでしょうか。立っている場所が変われば、見える風景も変わってきます。出口がないように見えた林を抜ければ、青空が広がっているかもしれません。

健康第一

残念ながら、働く人たち一人ひとりを人間として尊重してくれる職場ばかりではありません。どの建設現場にも「安全第一」という

標語が掲げられていますが、ある建設会社の社長はただ安全が大事と言うだけでは意味がないと考え、そのあとに「効率第二」と書き加えたそうです。皆さんはぜひ、「健康第一、仕事第二」だと肝に銘じてください。あなたの心身の健康を一番大切にして、これからの人生を仕事に遊びに、大いに楽しんでください。(法学部長 大山 礼子)

仏教学部	金沢 篤
文学部	谷口 泰富
経済学部	小栗 崇資
法学部	大山 礼子
経営学部	片桐 伸夫
医療健康科学部	瀬尾 育武
GMS学部	川崎 賢一
総合教育研究部	池上 良正
法科大学院	對馬 直紀

学園を去るにあたって 卒業生から

4年間で学べたこと



大学生活の中で、一番学べてよかったと感じるのは「挑戦という言葉の意味」です。入学前、私は「挑戦」という言葉に苦手意識を持っていました。たとえばマラソン完走に挑戦する。私は明日にでも毎日10 kmを走らなければならないように思ってしまうタイプでした。しかし、いきなりそんなメニューをこなせるわけがありません。完走は目標であって、挑戦ではない。私のやるべき最初の「挑戦」は体づくりのメニューを始め、継続すること。それに気付けたおかげで、これまで色々な挑戦ができました。アルバイト、副ゼミ長、仏教美術、数学、本。多くの人や価値観に出会い、充実した4年間を過ごせたと感じています。この機会や環境を与えてくれた両親、指導して下さった諸先生方、本当にありがとうございました。

仏教学部仏教学科4年 小林 紗由美



有意義だった4年間



駒澤大学の地理学科で勉強できるという期待と、授業は理解できるのか、友人はできるのかという不安を抱いて入学したのが、ついこの間のようです。4年間で振り返ると、充実した大学生活を送ることができたと感じます。

大学では学業に重きを置き、自分なりに努力して取り組めたので非常に満足しました。その結果としてか、二度の学長学業奨励賞の受賞もあり光栄でした。そして、大学生活において忘れてはならないのが友人たちの存在です。授業もゼミも、友人たちがいたからこそ頑張れたことがたくさんありました。地理学科の素晴らしい友人たちに出会えたことは私の誇りです。

最後になりましたが、ゼミでお世話になった橋詰先生を始めとする地理学科の先生方や、友人の皆さん、そして両親には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

文学部地理学科地域文化研究専攻4年 渋川 真実

努力と出会いの4年間



私の学園生活は努力と出会いの4年間でした。「努力」では勉強に力を入れました。高校まで成績がふるわず、大学ではしっかり勉強しようと思い、その結果3年連続で学長学業奨励賞を受賞し、また簿記2級や医療事務2級などの資格も取得しました。「出会い」ではゼミや資格の専門学校、アルバイトなどで多くの人と出会えました。中でもかけがえのない4人の仲間に出会い、苦楽を共にし、支えあってきたことが一番の思い出です。4月からは社会人として大学で得た知識や経験を活かし、感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

最後に、お世話になった両親と家族、親戚、村松教授、同じ出身高校の友人、4人の仲間、そしてこれらの全ての方との出会いの場となった駒澤大学に感謝申し上げます。4年間ありがとうございました。

経済学部現代応用経済学科4年 星野 裕介



日々は勉強



振り返れば私の大学生活は「刑法」に捧げたといっても過言ではないと思います。最初は単位を取るための勉強でしたが、様々な事例・判例に触れるうちに刑法の面白さに夢中になり、富樫先生のゼミに入りました。ゼミでは、2年間で詐欺罪や安楽死など6つのテーマについて研究し、図書館に入り浸り、法律と関係のない専門書に手を出したり、専門家に電話で質問したり、質問しようとして断られたり、様々な経験をしました。そんな日々を過ごすうちに、「単位を取るため」と漫然と取り組んでいた刑法が、いつしか自分の中で趣味と呼べる域へと昇華されていきました。

この4年間、大きく成長し充実した日々を過ごすことができたのも、熱心にご教授いただいた富樫先生と、共に学んだ友人のおかげです。この知識・経験を糧にこれからも精進いたします。ありがとうございました。

法学部法律学科フレックスA4年 横関 友也



のメッセージ

学生生活の思い出



私は道の駅による地域活性化をテーマに卒論に取り組みました。3年次とは違い、同じゼミ生でもほぼ会うことはなく、教授との打ち合わせの繰り返しという孤独な作業でした。ですが、多くの道の駅に赴き、多くの思いに触れたことはとても楽しく、1年間をかけて研究と調査を繰り返す一つの論文を仕上げたことはとてもいい経験となり、自分にとって大切な時間だったと感じています。

経営学部経営学科4年 橋本 祐子

私の大学生活は、音楽が中心となる4年間であったように感じます。ロック研究会に入り、とても充実した部活生活を送りました。趣味の合う仲間を集めて学外でバンド活動を行うこともしました。3年次にもう一つ軽音サークルに所属して、友達が沢山増えました。人と話すことが苦手でしたが、音楽を通して沢山の出会いが生まれたことに驚きと感謝です。4年間ありがとうございました。

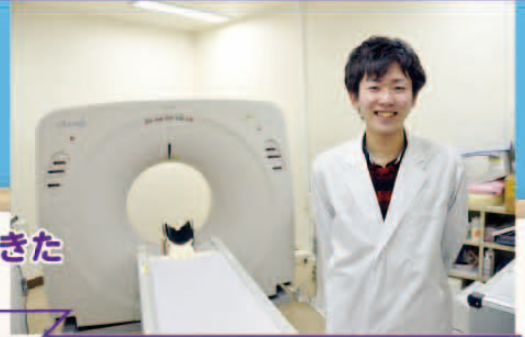
経営学部経営学科4年 遠藤 美帆



卒業論文発表後の記念撮影



共に成長できた4年間



大学生活は、実験レポートに定期試験、病院実習、国家試験と、目まぐるしく過ぎていきました。しかし、それらはどれも興味深く、充実し、自分の成長に繋がっていることを実感することができました。

そして何より、良き友に巡り合うことができました。実験班で協力してレポートを書いたり、定期試験後恒例の飲み会に行ったり、たまには勉強そっこのけで遊んでみたり、もちろん国家試験合格に向けて協力・切磋琢磨したり…。それら全てが今では良き思い出であり、この仲間と出会えて本当に良かったと思っています。

4月からは診療放射線技師として働くこととなりますが、医療人、社会人として成長し、お世話になった方々に恩返ししていきたいと思っています。4年間指導して下さった先生方、学部の友人、そして家族に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

医療健康科学部診療放射線技術科学科4年 登坂 崇史

成長と学びの4年間



大学での4年間は、私にとって人生で最も成長できた時間でした。特に、2年生から始まった国際関係論のゼミは、私の大学生活そのものです。

芝崎教授の下、毎週夜9時過ぎまでの授業に加え、発表に向けたグループワークの日々。ゼミ生とは学校だけでなく休日にも時間が可能な限り話し合いを繰り返しました。グループワークにおける意見の衝突や課題に追われる毎日は厳しい状況ではありましたが、常にゼミ生と切磋琢磨した時間は、私にとってかけがえのない財産となりました。

卒業後は航空会社で働きますが、GMS学部で学んだ知識や経験を活かし、グローバルな舞台で活躍していきたいと思っています。私を4年間支えて下さった先生、友人、出会ったすべての皆さん、そして家族に感謝します。本当にありがとうございました。

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科4年 原 杏奈

★ 司法試験合格体験記 ★

平成25年3月 法科大学院修了 舟橋 和宏

私は、平成22年4月に本学法科大学院に入学し、平成25年度の司法試験に合格して、現在は大阪地方裁判所にて司法修習をしています。

私は、親戚に障害を抱えた者がおり、その関係で、障害者団体の方のお話を聞くことがありました。そこで、社会的に弱い立場にいる人のために仕事がしたいと思うようになり、法学部に進学していた私は、弁護士になりたいと考えるようになりました。

しかし、大学生のときに挑戦した旧司法試験には全く歯が立たず、法科大学院でしっかり勉強したいと考え、本学法科大学院に入学しました。

学部時代はアルバイトばかりで勉強に集中していなかったことから、大学院入学当初は3年後に合格できるかどうか不安ばかりでしたが、法科大学院での先生方の熱心なご指導、諸先輩方の支援もあって、無事合格することができました。

大学生のころから、明確な目標を持つことは難しいと思いますし、私も持ってはいませんでした。しかし、気になったことをとにかくがむしゃらにでもやってみたり、興味あることを一歩でも深めてみることで、自分の将来やってみたいことが見つかると思います。

また、もし、わからないことがあれば、先人に聞いてみることも大切です。学生として、多くの失敗を経ることで色々気づかされることもあります。皆さんが、様々なことに挑戦して、興味あることを深め、目標を見つけられることを願っております。



平成25年度 学長賞表彰

学長奨励賞

学長賞 4団体と17人 学長奨励賞 9団体と17人

学長賞および学長奨励賞は、学業・善行・研究・文化・体育などの分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉貢献をした者、または学生団体をたたえる賞です。

学長賞を受賞した在校生・学長奨励賞受賞団体・個人へは、3月24日(月)に表彰式が執り行われました。

学長賞受賞団体と学長賞を受賞した卒業年次生は、3月25日(火)の卒業式において表彰されます。

学長賞

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶ 取得科目平均点が100点満点中90点以上でかつ全ての評価がA以上の者

- 和田 徹生 (禅4)
- 織田 雄三 (仏教4)
- 三島 秀典 (仏教4)
- 小野寺 将 (心理4)
- 玉村 契悟 (経済4)
- 深谷 絵美 (経済4)
- 原 ゆかり (経営4)
- 加藤 拓弥 (市場戦略4)

特に善行があって他の模範となる者又は学生団体

- ▶ 研究論文、ゼミ等で著しい研究成果があり、教授会の推薦のある者
- 経済学部 瀬戸岡ゼミナール (東日本大震災におけるボランティア活動)

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体(専門的研究を修めた者で教授会の推薦があるもの)

- グローバル・メディア・スタディーズ学部 Inter@active (情報処理学会主催のスマートフォン・タブレット向けコンテストにおいてアイデア賞を受賞)

■ 個人の部

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

<体操競技部>

- 東田 祥徳 (経営1)
- 第67回 全日本体操種目別選手権 男子跳馬準優勝

<自転車部>

- 櫻木 祥子 (歴史2)
- 2013年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第4戦 女子クラス優勝
- 2013年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第7戦 女子クラス優勝
- 2013年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第9戦 女子クラス準優勝
- 2013年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第11戦 女子クラス優勝

<ボクシング部>

- 高田 脩平 (社会2)
- 第83回 全日本ボクシング選手権大会 ライト級3位
- 田中 亮明 (商2)
- 第68回 国民体育大会 ボクシング競技 成年フライ級優勝
- 第83回 全日本ボクシング選手権大会 ライトフライ級3位
- 林田 翔太 (商3)
- 第68回 国民体育大会 ボクシング競技 成年フライ級準優勝
- 第83回 全日本ボクシング選手権大会 フライ級準優勝
- ASBCアジア連盟 ボクシング選手権アンマン2013 フライ級日本代表
- 第66回 関東大学ボクシングリーグ戦 1部リーグ階級賞(フライ級)

<陸上競技部>

- 中村 匠吾 (経済3)
- 第27回 ユニバーシアード競技大会 男子ハーフマラソン日本代表 団体準優勝・個人3位
- 第25回 出雲全日本大学選抜駅伝競走 第1区区間賞
- 第45回 全日本大学駅伝対校選手権大会 第1区区間賞
- 村山 謙太 (経済3)
- 第27回 ユニバーシアード競技大会 男子10000m日本代表 10位
- 第25回 出雲全日本大学選抜駅伝競走 第3区区間新・区間賞
- 第45回 全日本大学駅伝対校選手権大会 第4区区間新・区間賞
- 第82回 日本学生陸上競技対校選手権大会 10000m準優勝
- 2013 国際千葉駅伝 日本学生選抜 団体4位(第1区2位)
- 窪田 忍 (経済4)
- 第25回 出雲全日本大学選抜駅伝競走 第6区区間賞
- KBC Night of Athletics, Heusden-Zolder (BEL) 5000m 15位
- 第82回 日本学生陸上競技対校選手権大会 5000m 3位
- 油布 郁人 (経営4)
- 第82回 日本学生陸上競技対校選手権大会 1500m 優勝
- 第45回 全日本大学駅伝対校選手権大会 第3区区間賞

■ 団体の部

<陸上競技部>

- 第25回 出雲全日本大学選抜駅伝競走 優勝(大会新記録)
- 第45回 全日本大学駅伝対校選手権大会 優勝(3連覇)
- 第90回 東京箱根間往復大学駅伝競走 総合2位(駒大新記録)

<空手道部>

- 第56回 全国空手道選手権大会 大学団体戦形の部優勝
- 平成25年度 春季関東学生会定期リーグ戦 女子1部リーグ優勝
- 平成25年度 秋季関東学生会定期リーグ戦 男子1部リーグ優勝
- 第56回 関東大学空手道選手権大会 女子団体組手の部優勝
- 第57回 全日本大学空手道選手権大会 女子団体組手3位

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

- ▶ 研究論文、ゼミ等で著しい研究成果があり、教授会の推薦のある者
- 桂木 映理子 (商3) 税理士試験2科目同時合格

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

<空手道部>

- 岡野 拓馬 (政治1)
- 平成25年度 春季関東学生会定期リーグ戦 個人戦男子組手の部優勝
- 佐野 まどか (国文2)
- 平成25年度 秋季関東学生会定期リーグ戦 個人戦女子組手の部優勝
- 廣瀬 まり (仏教3)
- 第3回 東アジアシニア空手道選手権大会 日本代表 女子団体組手優勝 シニア女子組手-61kg級準優勝
- 田口 聡珠 (GM3)
- 第24回 関東学生空手道体重別選手権大会 女子-68kg級優勝

<卓球部>

- 英 稔史 (経済1)
- 2014サファイール国際オープン関東学生卓球連盟代表

<硬式野球部>

- 今永 昇太 (経済2)
- 平成25年度 東都大学野球春季リーグ戦 1部リーグ最優秀投手賞・ベストナイン投手
- 福山 亮 (経済3)
- 平成25年度 東都大学野球春季リーグ戦 1部リーグベストナイン三塁手
- 砂川 哲平 (法律B3)
- 平成25年度 東都大学野球春季リーグ戦 1部リーグベストナイン二塁手
- 江越 大賀 (法律B3)
- 平成25年度 東都大学野球秋季リーグ戦 1部リーグベストナイン外野手

<陸上競技部>

- 中谷 圭佑 (経済1)
- 2013 日本学生陸上競技個人選手権大会 5000m 3位
- 第45回 全日本大学駅伝対校選手権大会 第5区区間賞
- 第90回 東京箱根間往復大学駅伝競走 第4区区間賞
- 馬場 翔太 (商2)
- 第45回 全日本大学駅伝対校選手権大会 第6区区間賞

<相撲部>

- 斎藤 健 (経済3)
- 第68回 国民体育大会 相撲競技 5位入賞

<ボクシング部>

- レイフック ターン (経営1)
- 第68回 国民体育大会 ボクシング競技 ライトウェルター級5位入賞
- 志渡澤 和広 (仏教4)
- 第68回 国民体育大会 ボクシング競技 ライトウェルター級5位入賞
- 新井 啓司 (経営4)
- 第68回 国民体育大会 ボクシング競技 フライ級5位入賞

<準硬式野球部>

- 魚野 拓真 (現代応用経済2)
- 平成25年度 東都大学準硬式野球春季リーグ戦 1部リーグベストナイン指名打者

■ 団体の部

<サッカー部>

- J R 東日本カップ2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦 2部リーグ準優勝(1部リーグ昇格)

<洋弓部>

- 2013年度 関東学生アーチェリー男子リーグ戦 3部リーグ準優勝(2部リーグ昇格)

<ボウリング部>

- 第52回 関東学生秋季レギュラーリーグ戦 2部リーグ優勝(1部リーグ昇格)

<自動車部>

- 平成25年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会 男子の部準優勝

<アメリカンフットボール部>

- 2013年度 秋季リーグ戦 2部リーグAブロック優勝(1部リーグ昇格)

<男子バレーボール部>

- 2013年度 春季関東大学バレーボールリーグ戦 2部リーグ準優勝(1部リーグ昇格)

<射撃部>

- 平成25年度 関東学生ライフル射撃選手権秋季大会兼段級審査会 3部リーグ優勝(2部リーグ昇格)

<囲碁部>

- 平成25年度 秋季関東学生囲碁団体戦 2部リーグ優勝(1部リーグ昇格)

<将棋愛好会>

- 平成25年度 春季団体戦 B2級(3部リーグ)準優勝(B1級(2部リーグ)昇級)

学長賞受賞者のコメント



昨年の成績と 今年の目標

ボクシング部
経済学部商学科2年
田中 亮明

この度は学長賞を受賞できたことを、大変光栄に思います。昨年のボクシング部は、団体戦で関東大学ボクシングリーグ戦1部で2年連続の3位。個人戦では国民体育大会優勝、全日本選手権3位と良い成績を取ることができました。いつも熱心に指導してくださっている小山田監督をはじめとする、コーチ陣の方々や、共に頑張ってきたボクシング部のメンバーにも感謝を申し上げたいと思います。学長賞をいただいたことを励みにして、今年こそリーグ戦、国民体育大会、全日本選手権すべて優勝。そして日本代表として世界の舞台にあがることができるように、より一層精進して参ります。

これからもボクシング部をよろしく願います。



強く

自転車部
文学部歴史学科日本史学専攻2年
櫻木 祥子

この度は名誉ある学長賞を受賞できてとても光栄に思います。私は大学生になってから自転車競技を始めました。初心者で部活に入ることには不安はありましたが、先輩方の指導のおかげで競技の楽しさを見出すことができました。そして強くなる方法を考え実行することで主体性が身に付き、2年目で主将になったことで責任を持つことの重要性を学びました。

多くの方の支えで競技を続けられていることに感謝の気持ちを忘れず、強くなりたいという思いを持ち続けていきたいと思っています。私個人としては全日本大学対抗選手権で優勝することを目標とし、限られた大学生活を大切に日々努力していきます。そして自転車部の発展に貢献していきたいです。



学長賞受賞のお礼

陸上競技部
経済学部経済学科3年
中村 匠吾

今回は、学長賞を授与していただきありがとうございます。昨年はユニバーシアード大会で初めて海外遠征を経験させていただき、帰国してから競技に取り組む意識が大きく変わりました。

また、大学駅伝では優勝できた喜び、そして箱根駅伝での悔しさと、1年間で多くの経験をしました。

今年は主将として、チームを引っ張り大学駅伝三冠を達成すること、また主将を任せていただくことで自分自身の成長に繋がるような1年にしていきたいと思っています。学長賞をいただいたことに恥じぬよう精一杯努力していきたいと思っていますので、今後ともよろしく願います。



学長賞のお礼

陸上競技部
経済学部経済学科3年
村山 謙太

この度は、学長賞をいただき本当にありがとうございました。このような賞をいただけるのも、学長はじめ、たくさんの方々の支えがあるからだと思っています。

今年度の出雲駅伝や全日本大学駅伝では、区間新記録の区間賞を取りチームに貢献することができましたが、箱根駅伝では区間2位と不甲斐ない走りをしてしまい総合優勝もできず悔しい結果になりました。4月からは最上級生となり副キャプテンを任せられました。次こそ、三大会で区間賞を取り、チームのエースとして引っ張っていこうと思っています。また来年もこの素晴らしい賞をいただけるよう頑張りたいと思っています。

学長賞受賞団体のコメント

勝利にこだわる

空手道部



この度学長賞を受賞することができ、大変光栄です。受賞にあたりご支援をいただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

今年度、部としては春先の個人戦で男女ベスト8どまり、東日本大会では女子が初戦敗退するなど、苦しい立ち上がりでした。「勝つために何が必要か」を考え、稽古への取り組み方、食事や睡眠など基本的なことを見直しました。また、夏季合宿では長時間に亘り、肉体・精神を鍛え抜き、自信を養いました。振り返れば厳しい戦いの連続でしたが、7月の全国大会総合優勝、10月には女子が関東大会で10年ぶりに優勝し春の雪辱を果たしました。

後輩たちには、勝利にこだわりを持ち、進化し続けてもらいたいと思います。

今後とも応援よろしく願います。押忍

(前主将 経済学部現代応用経済学科4年 浮島 侑里)

駒澤大学同窓会からのお知らせ

同窓生総数219,000人！ 皆さまの積極的な参加・協力をお願いします！



- 全国に55支部を擁し、各支部では、総会・懇親会・支部ごとの交流会を行い、結束を強め、母校を応援しています。
- 卒業時の住所により、各都道府県支部に登録されます。卒業後に住所変更等をされましたら、事務局までお知らせください。
- 卒業後は、年1回「同窓会だより」をお送りします（毎年9月発行）。各支部の活動や大学の近況がわかります。未着の場合は、住所不明者扱いになっておりますので、必ずご連絡ください。
- 同窓会ホームページをご覧ください。
大学HP → 同窓生の方 → 同窓会

事務局連絡先 TEL: 03-3418-9189 FAX: 03-3418-9190

ホームカミングデー

卒業後も大学へ！

毎年11月上旬に「ホームカミングデー」を開催しています。卒業後、母校へお集まりいただき、旧交を深める会として今年で11回を迎えます。

開催日程が決定次第、ホームページ、同窓会だより等でお知らせいたします。多くの卒業生の皆さまのご参加をお待ちしています。



卒業生の皆さんへお知らせ

卒業証明書、成績証明書等の申し込み

窓口申し込み、郵送申し込みの2つの方法があります(電話・FAX・Eメール等による申し込みは受け付けません)。

【窓口申し込み】

公的機関発行の身分を証明するもの(運転免許証・パスポート・健康保険証・住民票等)を持参のうえ、直接来校してください。(教務部①番窓口)

【郵送申し込み】

以下の4点を封書で郵送してください。

★公的機関発行の身分証明書の写し

★必要事項記載用紙

- ①氏名(卒業時氏名・フリガナ併記。英文証明書希望者は欧文氏名も併記してください)
- ②生年月日
- ③入学年月・卒業年月
- ④学部・学科
- ⑤学生番号
- ⑥フレックスA・Bの別
- ⑦卒業時の本籍地(都道府県名)
- ⑧証明書種類・必要部数(厳封の要・不要を記入してください)
- ⑨使用目的・提出先
- ⑩連絡先(住所・電話番号・日中連絡のつく電話番号も併記)
※任意の書式可。また本学ホームページより専用フォームのダウンロードも可能です。

駒澤大学ホームページ

<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

★証明書発行手数料(切手)

1通300円

(英文による証明書は1通600円)

★返信用封筒

長形3号封筒 23.5×12cm

宛先明記・送料分の切手貼付

【申し込み先】

〒154-8525

東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学教務部 証明書係

☎03-3418-9121

なお、夏季・冬季休業中、及び学校行事等で事務取り扱い日・時間が変わります。お問い合わせください。

卒業アルバムの発送について

卒業アルバム購入申し込みをされた方へ

卒業アルバムは、4月末の発送を予定しています。

予定を大幅に過ぎても届かない場合は、下記までご連絡ください。

★卒業アルバム問い合わせ先

学生部学生係

(学生部①番窓口)

☎03-3418-9064

卒業後の図書館利用について

卒業後も図書館を利用できます。来館の際は、1階カウンターで、身分を証明するもの(運転免許証、卒業証明書等)を提示し、所定の「図書館利用願」に記入し、館内利用の手続きを行ってください。

貸出が受けられる貸出登録手続き等詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

★問い合わせ先

図書館情報サービス係

☎03-3418-9165

http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/library_guide/sotsugyousei/

library_guide/sotsugyousei/

総合情報センターから

卒業生および修了生の方へのお知らせ

卒業生および修了生の方のユーザIDは、3月31日をもって削除されます。

これに伴い、個人データはメールも含めすべて削除されますので、ご注意ください。

吉津宜英教授逝去

平成26年1月5日、仏教育学部教授吉津宜英先生が急逝された。享年70歳であった。

先生は昭和46年4月、本学大学院博士課程満期退学と同時に仏教育学部助手に就任して以来、一貫して本学において研究と教育に従事された。この間、短大仏教科主任、仏教育学部仏教科主任、大学院人文科学第一研究科委員長、学生部長(評議員)、仏教経済研究所所長を歴任し、本学発展のために尽力された。また、先生は昭和55年、『俱舍論索引』全3巻の業績によって日本学士院賞を共同受賞されているほか、昨年には長年にわたり中国華厳教学研究に卓越した成果を示したことにより、仏教思想学術賞の榮譽に浴された。